

令和5年度 第1回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）

開催日時	令和5年8月9日（水）14時40分～16時40分
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール
出席者	<p>委員 西田 洋平 会長 久保田 幸子 副会長 設楽 純江 委員 高橋 浩也 委員 森谷 芳浩 委員 甲木 なな子 委員</p> <p>事務局 平井 社会教育部長 藤田 中央図書館長 熱田 管理担当長 仁和 奉仕担当長 長沼 中央図書館窓口業務委託業務責任者 小泉 北図書館長 落合 西図書館長 市楽 総括責任者兼南図書館長 松浦 管理担当主管 杉山 管理担当主査 渡邊 管理担当主任</p>
欠席者	なし
傍聴人	4名

1 会長・副会長の選出

会長に西田委員、副会長に久保田委員が選出された。

2 議 事

（1）図書館協議会委員の職務

事務局から資料の説明を行った。（2～4ページ）

図書館協議会の法的根拠を説明後、前期の協議内容の主なものとして、図書館の事業計画、視聴覚ライブラリーのあり方、貸出点数及び予約点数の緩和とその後の検証等を協議した旨を説明した。

（2）平塚市図書館の概要、利用状況

ア 中央図書館の紹介 イ 地区図書館の紹介

事務局から資料の説明を行った。

中央図書館と移動図書館の概要、運営形態及び各館それぞれの蔵書等の特徴等を説明した。（5ページ）

北図書館、西図書館及び南図書館の施設概要、運営形態及び各館それぞれの蔵書等の特徴等を説明した。（6ページ）

【 会 長 】	登録者数とは、2022年に各図書館で新規登録された人数か。
【 事 務 局 】	各図書館で利用登録されている累計である。
【 会 長 】	各館で発行した図書館カードは全館で使用することができるのか。
【 事 務 局 】	全館で利用できる。
【 会 長 】	駅前予約図書受取所では図書館カードの発行はできないのか。
【 事 務 局 】	駅前予約図書受取所は、予約図書の貸出と図書資料の返却のみの業務を行っている。
【 委 員 】	図書館カードの有効期限を教えてください。
【 事 務 局 】	5年で更新となる。その後、一定期間の利用がないと削除される。
【 委 員 】	更新手続きをしないと、その後除籍をしているのか。

【事務局】	自動的に除籍されるわけではない。何年かに1度、相当期間利用がない利用者に関しては利用登録を削除している。
【副会長】	駅前予約図書受取所は駅前市民窓口センターの職員とは別に、図書館専用の職員が3名配置され、9時から20時までの窓口開設中に1名以上必ず常駐させているという意味か。
【事務局】	その通り。
【委員】	駅前ではその場で図書資料の返却処理をしているのか。
【事務局】	その場で返却処理を行っている。
【委員】	返却はリアルタイムで反映されるのか。
【事務局】	すぐに反映される。
【委員】	各図書館の地域性や利用層を考慮して蔵書をされているようだが、登録者や来館者の統計で、各館ごとの年齢層等がわかる資料はあるのか。
【事務局】	毎年発行している図書館年報『らぼーる』で、18歳までの方及び18歳以上の方の登録者数や市外在住の方の登録者数の統計はある。
【委員】	そうした統計を分析していけば、年齢層に応じて蔵書や選書をする時の参考になるのではないかと思うので検討していただきたい。
【副会長】	駅前予約図書受取所は、1日の利用者はどのくらいか。全体的な利用状況を見ると、毎日人が殺到するという状況ではないように思われる。予約図書の貸出や返却の業務だけであれば市民課の職員へも依頼するなどして、市民課と図書館の業務を兼務する体制を作れば、経費削減ができるのではと思った。そのあたりも検討していただきたい。
【事務局】	駅前予約図書受取所の時間ごとの来館者は集計している。曜日や時間帯で利用者数も違う。駅前の職員は、カウンター処理を行っているだけでなく、図書の配送の対応もしている。利用が増えてきているので、その処理も1人では厳しいという声もある。仕事の波もあるので、その部分の効率化は検討していく。
【会長】	通勤時間帯の夜間などの利用が非常に多い状況はあるのかもしれないが、資料5ページの中の駅前の貸出者数を日数で割り返すと、1日当たり平均50名ほどの方が利用していると思われる。

ウ 利用状況

事務局から資料の説明を行った。(7～10ページ)

2022年度の平塚市図書館の貸出点数は、1,252,478点で、前年度と比較して3%減少している。来館者数は、552,006人で、前年度と比較して、3%増加したが、コロナ禍以前の水準には届かなかった。駅前予約図書受取所の利用者は利用が伸びており、2022年4月と2023年3月では利用者が倍に増加した。電子図書館の利用状況としては、2023年3月末の蔵書数は、青空文庫を含め、10,380冊となっている。絵本や小説、ヤングアダルト、旅行や料理の本等人気の高い本を中心に購入した。

【会長】 来館者数はどのようにカウントしているのか。

【事務局】 図書館の入口にカウンターを設置している。

【会長】 移動図書館の利用者数はカウントしていないのか。

【事務局】 移動図書館にはカウンターがないので、貸出件数から推測している。

【会長】 滞在型図書館というのが最近主流となりつつあるが、滞在時間の統計はとっていないのか。

【事務局】	滞在時間のカウントは難しい。貸出点数は減少しているが、来館者数は若干増加している。長時間滞在され、食事をするために1度退館して、また戻ってくるといったようなケースも推測される。
【委員】	電子書籍の蔵書数のうち青空文庫はどのくらい含まれているか。
【事務局】	電子書籍の内訳についてはこの場では回答できない。
【会長】	青空文庫だけで相当数あるのではないかと推測されるが、電子図書館の場合、購入し蔵書する書籍は永続的なものではないのではないかと。
【事務局】	電子書籍は、青空文庫のようにいつまでも蔵書として利用できるものもあるが、基本的には購入から1～2年で自動的に蔵書として削除されるもの、一定回数の貸出で削除されるものとある。
【会長】	紙の書籍と違い、電子図書館の中だと、人気のある書籍を多く取揃え、より早く貸出できるようにするなど、蔵書の調整ができるということではないか。
【事務局】	電子書籍の期限や回数などの条件は、購入する図書館側では決められない。電子書籍を提供している会社条件を設定している。図書館側では、人気の本を引き続き購入する、削除されてしまった書籍を購入しなおす等の対応をしている。
【会長】	蔵書は少ないが貸出が多い書籍や分野、逆に蔵書は多いがあまり貸出されていない書籍や分野等がきっとあると思うが、電子図書館全体の蔵書の利用状況など分析はされているか。
【事務局】	児童書のように読みやすい書籍は、返却までが早いので冊数に反して貸出回数が多かったりして回転率が高いように思われる。電子書籍は比較的気軽に読めるものが多く借りられる傾向にあるため、旅行や料理の本等人気の高い本を中心に購入している。
【委員】	ヤングアダルトは、児童書ではなく一般書として分類しているのか。
【事務局】	ヤングアダルトは大人も中高生も利用する書籍である。出版社毎に分類が違っているので、厳密には分かれていないかもしれない。
【副会長】	図書館は本を借りるだけでなく、学生中心に学習スペースを利用する方も多くいると思う。3階等を自習スペースとして開放していたと思うが、今でも開放しているか。
【事務局】	開放している。特に受験シーズンになるとたくさんの学生さんに利用していただいている。
【副会長】	図書館をコミュニティという場所として捉えると、本の貸出だけでなく、滞在できる、学習できる場所として図書館は重宝されている。学生さんから話を聞いたが、1階こども室前のロビーについて、軽食をとったり休憩したりできるようになって非常にうれしいというご意見も多くあった。今後、本を借りるだけでなく、滞在できる図書館という視点も大切にしていきたい。
【委員】	今後、電子図書館の活用も増えてくると考えるが、学校での利用を考えると、校外学習で様々な地域へ行くための下準備として、電子図書館を利用すること等が想定される。紙の旅行本は毎年更新されているが、電子図書館の『まっふる』、『るるぶ』などの旅行本は毎年更新されているのか。
【事務局】	『まっふる』、『るるぶ』などの旅行本の更新がどのように行っているかは

	この場ではわからないが、今年度は、児童書読み放題サービスの導入しており、学校現場のお役にたてるような蔵書構成にするなど、学校との連携は進めていきたい。
【 委 員 】	学校にとっても使い勝手の良い電子図書館になっていくよう学校と連携しながら進めていただけると理解したい。
【 会 長 】	夏に電子図書館の利用が下がっているが何か要因があるのか。
【 事 務 局 】	9、10月頃利用が減っているが、夏休みの終了とともに利用が少なくなっているのではと推測される。
【 会 長 】	新しい本の購入のタイミング等は利用状況に影響していないか。
【 事 務 局 】	昨年度の状況で、9、10月に利用期間が終了した本はないので、コンテンツ数の影響ではないと考える。
【 会 長 】	南図書館の来館者が減っている要因は何か。
【 事 務 局 】	駅前予約図書受取所の開設が大きく影響している。南図書館は駅前予約図書受取所に近い図書館であり、南図書館で予約し、駅前予約図書受取所を受取窓口として利用する利用者が実際のところ増えている。休日には南図書館を利用している方も、平日は駅前予約図書受取所を利用される方が多いと分析している。利便性の高さから駅前を利用されている方を図書館へ呼び寄せることは難しいが、工夫して運営を行っていきたい。
【 会 長 】	逆に言うと、駅前予約図書受取所が開設され利用者が増えたからと言って、図書館の利便性は高くなったが、平塚市全体の利用者数が増えたわけではないのかもしれない。

(3) 令和5年度(2023年度)平塚市図書館予算の概要と事業計画

ア 令和5年度(2023年度)平塚市図書館歳入歳出予算の概要

当事務局から資料の説明を行った。(11～13ページ)

当初予算について、歳入は1,457千円を計上しており、雑入では前年度の自動販売機電気使用料の増額をふまえ上方修正している。歳出は328,663千円を計上しており、電気料高騰化に伴う光熱水費の増額や令和4年度に実施した中央図書館の大規模修繕工事前の調査委託の減等もあり、総額で前年度より減額している。

【 副 会 長 】	歳出の『子ども読書活動推進事業』について、市内の中学校区毎に子ども読書活動推進協議会が設置されている。コロナ禍以前は一律委託料が7万円配当されていたが、コロナ禍で様々な活動が制限され、6万円に減額された経緯がある。昨年度から活動が再開され、従前の活動ができていた団体もあるので、委託料はぜひ7万円に戻してほしい。また、子ども読書活動推進協議会は地域によってだいぶ活動状況が違う。予算の執行状況も異なるので、各協議会に対し一律ではなく、団体の活動状況毎に配分していただけるよう御検討いただきたい代表者会議などで地域の状況を話し合う場を設け、その上で次年度予算の配分を検討していただきたい。
【 事 務 局 】	それぞれの地域の活動の状況を伺いながら、次回の子ども読書活動推進協議会の代表者会議の議題にとりあげ協議したい。
【 会 長 】	児童書読み放題パックは今年度の4月から導入されたのか。利用状況を教えていただきたい。
【 事 務 局 】	今年度から導入したもので、読み物や調べもの学習に役立つコンテンツを中心に提供している。現在の閲覧数は、275冊の書籍に対し、366回ア

	クセスされた状況である。学校のタブレットとの連携については、関係機関と現在調整を行っている。
【 委 員 】	『ブックスタート事業』について、配付絵本の購入冊数を減らしたり、配付するバッグの購入を見合わせたりされたとのことだが、子どもの出生数が減ったのか、または参加者数が減ったのか。
【事 務 局】	少子化の影響及びコロナ禍でブックスタートを開催できなかった要因等がある。令和5年度は在庫で対応できる。
【 委 員 】	コロナ禍でブックスタートを受けなかった方に対するフォローはされているのか。
【事 務 局】	お配りする本が1歳児向けのものであることをご了承いただいたうえで、対応している。
【 会 長 】	『館外サービス事業』の幼稚園等へ資料を貸し出すサービスは、資料7ページの移動図書館の枠でカウントされているのか。
【事 務 局】	団体貸出については別枠のため、グラフの中には含まれない。
【 会 長 】	そのあたりの数字もきちんと示し、平塚市図書館全体としてどのくらいの資料が貸し出されているのか等を把握する必要があるのではないかと。
【事 務 局】	団体貸出は、昨年度の数字だが126件9,000冊が貸し出されている。
イ 平塚市図書館全体事業	
事務局から資料の説明を行った。(14～18ページ)	
令和5年度の重点目標や所管する計画、全館で共通するサービスについて説明した。図書館協議会でも協議いただいた、予約資料の置き期間の短縮については、2023年5月25日から実施したが、利用者の皆様にもご理解いただき、今のところ大きな影響はない状況である。	
【 会 長 】	「これからの平塚市図書館運営のあり方」について、大変重要な内容となっていると思う。策定から2年が経過したが、進捗状況などはいかがか。本協議会でその都度進捗状況の報告をしていただくようお願いする。
【 委 員 】	「これからの平塚市図書館運営のあり方」の中に予約資料の受取場所の増設ということで、駅前に新たな窓口を開設されたと思うが、今後新規の受け取り場所を増やしていく計画はあるのか。
【事 務 局】	移動図書館は将来的に廃止し、それに代わる地域の読書環境を整備する必要がある。公共施設等を中心に地域の中でどのような読書拠点ができるか協議を進めているところである。
【 会 長 】	デジタルアーカイブの利用状況等はいかがか。
【事 務 局】	令和3年度に導入し、現在の資料数は約30点を提供している。今後も地域資料をデジタル化し公開していく。
【 会 長 】	ジャパンサーチというサイトと連携すると、全国からアクセスできるようになるので、あわせて検討いただきたい。
【事 務 局】	承知した。
【副 会 長】	今日配付していただいた「きいぷ」に、本の寄贈について掲載されているが、直接窓口の本を持っていくと受付していただけるのか。
【事 務 局】	受け入れの条件などもあるので、事前にお問い合わせいただければ助かる。
【副 会 長】	本をリクエストしても100人以上待っている人気の本等がある。そういった人気の本を寄贈していただければ、待ち人数を減少できるのではないかと。寄贈の仕組みを周知することも大切だと考える。

ウ 令和5年度(2023年度)事業計画

事務局から資料の説明を行った。(19～27ページ)

中央図書館事業(奉仕担当)として、『6 子ども読書活動推進プロジェクト』の「図書館でポスター・標語の宿題に挑戦しよう」では、8月に図書館職員が講師となり、図書館の本を使った宿題のテーマの調べ方の講座を実施する。また、『7 文化ゾーン3館コラボ事業』では博物館や美術館とコラボした事業「ちやいろの夏休み」を実施。図書館では1階ロビーでの展示やスタンプラリーなどを実施する。

中央図書館事業(窓口委託業者)として、今年度からイベントなども実施する。7月～8月にかけて実施した小学生を対象とした『3 一日図書館員』は例年大変人気のイベントであり、今年度は全館で定員や回数を拡大して行った。中央図書館では定員64人に対し182人の応募があったので、冬にも『4 小学生の図書館体験』として、一日図書館員と同じような体験事業を行う予定である。また『5 中学生・高校生を対象としたボランティア』も定員10名に対して応募16名があったが、応募された方全員を受け入れたいというスタッフの思いから、抽選としないこととした。また、新たな取り組みとして、『8 こどもアンケート』も行い、子どもたちの参加したいイベントを実施したいと考えている。その他の項目9～11では展示関連として、1階ロビーでは季節行事に合わせ展示を行っている。1階ロビーが利用者の方の憩いの場になるように今後もさらに工夫していきたい。

地区図書館事業(指定管理者)では、3館共通するものとして、『2 こどもおはなし会』を10月から神奈川県「ファミリー読書の日」である第1日曜日に開催する。家族で読書に親しむ機会となるよう工夫していきたい。昨年度実施して大変好評だった『4 夏休み宿題お助け隊』を今年度も引き続き実施する。地域連携を深めるべく『23 地域行事への参加』へもさらに力を入れていきたい。その他資料にはないが、秋に3館合同のスタンプラリーを実施する。また、昨年度図書館協議会からご意見をいただいた「本を運ぶためのかごやカートの設置」について、4月から各地区館で導入・運用を開始している。貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。また、夏休み期間中は各地区館全日開館を実施している。

北図書館では、『8 市民団体と連携した作品展示』や『11 図書館のホームページ活用講座』、また今年度新たな取り組みとして、『13 学校授業や行事での資料活用支援』では、図書館員が学区の小学校へ訪問し、授業の時間をいただき、本を紹介する「ブックトーク」を実施する予定。今年度も地域や学校と連携し、地域に親しまれる図書館として運営していきたい。

西図書館では、『9 映画会』(子ども向け)や『21 職場体験の受入』(中学校等)を行う予定。また、西図書館は今年度開館30周年を迎え、同時期開催の子ども読書週間も利用した、子ども向けと全年齢向けのイベントを行った。昨年度に紹介させていただいた「ぬいぐるみおとまり会」は、図書館協議会からいただいた定員拡大や運用方法の変更の検討の御意見を反映させ、6月に再度実施。大変好評だった。

南図書館では、今年度は複合施設の相互利用の促進を目的に、南部福祉会館との共催でおはなし会や映画会を行っている。同施設で活動している花水福祉村の協力を得て、南図書館のスペースを活用した作品展示もさせていただいている。『23 地域行事への参加』では、地域のボランティア向けに図書修繕講座を実施。『25 多世代向け事業』では、マカロン型のストラップ手作り体験会を実施。今後は、図書館を利用いただくへのきっかけづくりとして、タブレット端末を使用した図書館や電子図書館の使い方講座も企画している。今年度も市民の皆様により親しみをもってもらえる図書館となるよう尽力していきたい。

【 会 長 】 指定管理者であると、学校や地域との連携は難しいのではないかと

	いたが、今ご紹介いただいただけでも大変多くのことを実施していただいていることに大変驚いた。とてもよくやっただけというものが率直な感想である。
【 委 員 】	『21 職場体験の受入』だが、図書館をはじめ地域の様々な職場に中学生の受入をお願いしているところである。コロナもおさまり今後受け入れの要請がさらに増えると思うので、受け入れのご協力のほどよろしくお願したい。『6 ビブリオバトル』は授業の中で取り入れている学校もある。詳細をお聞かせ願いたい。場合によっては、中学校長会の中でこういった図書館の取り組みの情報提供ができればと考えた。
【事 務 局】	昨年度に南図書館で冬に小学生向けにビブリオバトルを開催した。コミュニティー型として、グループに分かれミニ発表をするようなビブリオバトルとして開催した。大変好評だったので、今年度は南図書館以外にも北図書館、西図書館で開催を計画している。 西図書館では、10月に4～6年生を対象にビブリオバトルを開催予定。中学生以上の参加は次年度以降検討させていただきたい。 北図書館では、学校への訪問の中でビブリオバトルを実施できないかと学校側と相談したが、今年度の実施は見送られた。今後、参加対象含め実施方法を検討していく。
【 委 員 】	『13 学校授業や行事での資料活用支援』では、ブックトークや読み聞かせ等の実施だけではなく、授業の中で活用できる資料をお借りしたいなどの要望もある。授業内容によってご支援いただく方法が変わってくると思うが、そういったことは随時学校から地区図書館へ連絡し、一緒に検討していただくという理解でよろしいか。低学年だと授業の中で実際に図書館に来たりもするが、中高学年になってくると授業の中で資料を使わせていただいたり利用の仕方も変わってくる。
【事 務 局】	こういった地区図書館のサービスがあることを、各中学校区に設置されている子ども読書活動推進協議会を通じて各学校に周知されているが、中々行き届いていないのが現状である。依頼に応じて図書館から学校へ出向いたり、団体貸出制度を利用して、テーマにあった本を集めて貸出したりできる。学校や先生のご要望に応じて様々な協力をさせていただける。学校のお役に立てるサービスを行っていきたく考えるので、ぜひご活用いただきたい。
【 委 員 】	図書館に近い学校だと、授業の中で図書館に行ったりもできるが、遠い学校だとなかなか難しいこともあるので、いろいろなかたちで学校として図書館を利用できると有難い。
【副 会 長】	図書館にこのような要望がある場合は直に連絡すれば良いのか。
【事 務 局】	地区図書館に関しては、最寄りの図書館や先生が1番アクセスしやすい図書館へご連絡いただければ幸いである。
【副 会 長】	中央図書館の子ども読書活動推進協議会の事務局などを通さずに、直に地区図書館へ連絡して良いのか。
【事 務 局】	直接、各地区図書館へご連絡いただいても構わない。
【副 会 長】	先日開催した太洋中学校区子ども読書活動推進協議会の総会には、南図書館長にもご出席いただいたが、各中学校区子ども読書活動推進協議会の代表者会議にもぜひ地区図書館もご参加いただき、情報共有をさせていただき、

	連携を深めたい。
【 委 員 】	中央図書館や地区図書館で担当する地域は決まっているのか。
【 事 務 局 】	子ども読書活動推進協議会の中では担当の中学校区は決まっているが、それにこだわることなく、行きやすい地区の図書館を御利用いただければ対応させていただきたい。
【 副 会 長 】	中央図書館へ連絡すればどの図書館を利用すれば良いのか等案内もしてくれるのか。
【 事 務 局 】	内容によって対応する館が変わると思うので、ご不明な点があればご連絡させていただきたい。
【 会 長 】	今年度から窓口委託の範囲を拡大したとのことだが、中央図書館の奉仕担当が行っている事業と委託業者が行う事業の分担等はどのようになっているのか。
【 事 務 局 】	カウンター業務を委託しているので、カウンターに関連する内容やイベントを今年度から業務を委託することにした。例えば、一日図書館員のように、日々カウンターに出ている図書館員が行った方がより親しみを感じていただけるのではないかと判断できることは今年度から委託業務とした。
【 会 長 】	地区図書館は18時まで時間延長して開館、夏休みは全日開館、月末の休館日も開館しているが、中央図書館の状況はどうなっているのか。
【 事 務 局 】	中央図書館では、現時点で開館時間や休館日の変更は予定していない。
【 副 会 長 】	中央図書館は夏休み期間中の月曜日は全て休館なのか。
【 事 務 局 】	月曜日は基本休館である。
【 会 長 】	窓口等業務委託の業務範囲を増やしているので、開館時間や休館日の変更等が可能ではないかと思う。今後検討すべきではないか。
【 委 員 】	移動図書館の廃止に向けた動きがあるとは思いますが、岡崎地区の子どもたちは移動図書館が来るのを楽しみにしている状況はある。電子書籍に移行する動きがあるとは思いますが、移動図書館を楽しみにしている子どもたち等もうまくフォローできるよう工夫をしていただきたい。
【 事 務 局 】	岡崎地区へは、岡崎小学校やおかざき鈴の里へ訪問し利用者も多いので、移動図書館を廃止しても、図書館サービスを継続して利用できるように検討していきたい。
【 委 員 】	学校現場では、司書教諭や学校司書が配置され学校図書館の運営をしているが、情報がなかなか行き届かない。学校司書に向けた図書館サービスの周知の状況を教えていただきたい。
【 事 務 局 】	子どもや学校に関わる図書館事業について、学校へ文書で通知している。
【 委 員 】	学校宛の通知はいただいているが、こういったたくさんの事業や制度を図書館でやっていただいていることを直接学校司書へ伝えられるような場が必要だと思う。年度の初めに学校司書の集まる会議もあると思うので、そういった機会に情報や経験等を共有できる場があれば良いと思う。
【 事 務 局 】	学校司書まで周知が行き届くようにするためにはどうしたらよいか検討したい。
【 委 員 】	大磯町では、学校司書と図書館職員との連絡会議を年に数回行っている。規模は違うかもしれないが、そういった機会があれば良いと考える。
【 副 会 長 】	夏休み期間中は、地区図書館は月曜日開館していて中央図書館は休館して

いる。中央図書館を利用している学区の子どもたちも多くいると思うし、足並みを揃えていただきたい。

(4) 前期図書館協議会からの申し送り事項

事務局から資料の説明を行った。(28～29ページ)

前期図書館協議会では、「平塚市視聴覚ライブラリーのあり方」と「貸出点数及び予約点数緩和のその後の検証」をテーマとした。「平塚市視聴覚ライブラリーのあり方」については、図書館協議会で協議した内容を整理し、令和4年11月の第2回図書館協議会で報告書が提出された。前期図書館協議会からは、7点が申し送り事項となっている。特に、中央図書館の改修や移動図書館の廃止については、市民の方たちの関心が高い事案と考えられるので、図書館協議会においても随時状況をご報告いただきたいと要望をいただいている。

【 会 長 】 前期図書館協議会からの引き継ぎ事項として、①「平塚市視聴覚ライブラリーのあり方」(報告)への対応、②貸出点数及び予約点数緩和のその後の検証結果と今後の取組、③学校図書館との連携等(電子図書館と小・中学校タブレット学習への連携)、④地区図書館3館への指定管理者制度導入後の運営の検証、⑤図書館増収策の検討と運営コストの見直し、⑥中央図書館の改修に向けて、⑦「これからの平塚市図書館運営のあり方」及び意見書への対応の7点をいただいた。

事務局と会長、副会長で次回会議までに話し合い、次回会議で提案させていただきたい。各委員も協議したいテーマなどあったら、事務局までご連絡いただきたい。

(5) 今後の予定

・第2回平塚市図書館協議会

令和5年11月9日(木)午後

閉 会